



## CL装用者の老視対策

45歳を超えると多くの方に老視が出てきます。老視は近くのものが見えにくくなる症状ですが、通常はreading glass（老眼鏡）を作って、近方視にそれを使用してもらいます。CL（コンタクトレンズ）装用者はどうすればよいのでしょうか？

- 1) 単焦点CLを低矯正にする。
- 2) 単焦点CLと近用または遠用眼鏡を併用する。
- 3) モノビジョン（左右で焦点が異なる）
- 4) 遠近両用CL

CL装用者の方は元々、完全矯正に近い度数のCLを処方されていることも多いので、**眼鏡装用時よりも近方視での見えにくさを自覚しやすい**ことが多いです。

PC画面、スマホ画面、現代は近くを長時間見ることを強いられることが多く、多くの方にとって眼精疲労が出やすい状態になっています。

## 定期検査をお勧めする状態

眼科領域で定期検査をお勧めする場合はどんなことがあるのでしょうか？すでに病気になっている場合をのぞき代表的なものを紹介します。

### ① 緑内障疑いの時

今は問題ないが、将来的な緑内障への進展の恐れがある場合。

### ② 糖尿病のある方

糖尿病網膜症は、いつの間にか進行し、失明する可能性のある病気です。初期には自覚症状がありません。

### ③ 加齢黄斑変性などの前駆病変が見られる場合

前駆病変は将来、病気が起こる可能性のある所見をさします。早期発見を目的に早めにみつけることで、早期治療が可能となり、結果、悪くなる前に対応できます。

## LINEお友だち登録

8月31日現在で  
**254名**の方にお友だち登録をしてもらっています。

